



H.Yamanaka

THE VICTORIA MILE

第20回 ヴィクトリアマイル (GI)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着
本 賞 130,000,000円 52,000,000円 33,000,000円 20,000,000円 13,000,000円
付加賞 3,780,000円 1,080,000円 540,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 56kg

2025.5.18 東京 曇・良 芝1600m (国際 指定)

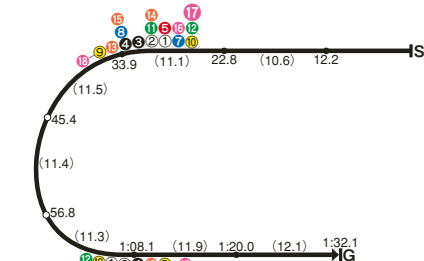
順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑦	アスコリビチエーノ	牝 4	56	C.ルメール	1:32.1	15-15	33.3	476(-)	2.5①	黒岩陽一(美浦)	112
2	⑫	クイーンズウォーク	牝 4	56	川田将雅	クビ	13-12	33.6	536(+2)	8.5④	中内田充正(栗東)	111
3	⑩	シランケド	牝 5	56	M.デムーロ	ハナ	15-17	33.2	508(+2)	18.1⑦	牧浦充徳(栗東)	111
4	③	アルジース	牝 5	56	D.レーン	アタマ	7-4	34.1	458(-6)	9.1⑤	中内田充正(栗東)	111
5	⑮	アリスヴェリテ	牝 5	56	池添謙一	¾	1-1	35.4	482(+10)	97.7⑮	中竹和也(栗東)	109
6	⑧	シンリョウカ	牝 5	56	木幡初也	½	4-4	34.2	464(±0)	77.2⑭	竹内正洋(美浦)	108
7	⑨	アドマイヤマツリ	牝 4	56	田辺裕信	½	2-2	34.8	454(+2)	16.7⑥	宮田敬介(美浦)	107
8	②	ステレンボッシュ	牝 4	56	戸崎圭太	アタマ	8-8	34.2	468(+8)	8.0③	国枝 栄(美浦)	107
9	①	クリスマスパレード	牝 4	56	石川裕紀人	½	11-12	34.0	460(+2)	20.4⑧	加藤士津八(美浦)	106
10	⑪	シングザットソング	牝 5	56	斎藤 新	アタマ	8-8	34.2	452(+8)	112.2⑯	高野友和(栗東)	106
11	⑦	ワイドラトゥール	牝 4	56	北村友一	クビ	13-12	34.0	430(+4)	56.6⑩	藤原英昭(栗東)	105
12	⑤	ラヴェル	牝 5	56	津村明秀	½	11-8	34.4	466(-12)	27.2⑯	矢作芳人(栗東)	104
13	④	サフィラ	牝 4	56	松山弘平	½	4-4	34.8	454(-10)	25.1⑨	池添 学(栗東)	103
14	⑭	マサノカナリア	牝 4	56	横山典弘	½	8-8	34.7	462(±0)	167.7⑰	藤野健太(栗東)	102
15	⑮	ビヨンドザヴァレー	牝 5	56	菱田裕二	アタマ	3-3	35.0	470(-4)	39.3⑪	橋口慎介(栗東)	102
16	⑩	ボンドガール	牝 4	56	武 豊	½	15-15	34.2	456(+8)	6.2②	手塚貴久(美浦)	101
17	⑬	ソダダズリング	牝 5	56	坂井瑠星	2	4-4	35.3	470(+2)	43.6⑫	新谷合一(栗東)	97
競馬	⑥	ミアネーロ	牝 4	56	M.ディー						林 徹(美浦)	

単勝⑦250円(1¼) 複勝⑦130円(1¼) ⑩260円(4¼) ⑫390円(7¼) 枠連⑧-⑩1,220円(5¼)

馬連⑩-⑦1,280円(4¼) ワイド⑩-⑦550円(4¼) ⑩-⑦1,050円(8¼) ⑩-⑦2,710円(33¼)

馬単⑦-⑩1,980円(4¼) 3連複⑩-⑦8,120円(22¼) 3連単⑦-⑩26,000円(58¼)

5重勝⑦⑩⑫⑬⑭⑮3,789,600円(131票) 対象競走: 京都10R/東京10R/新潟11R/京都11R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m
33.9 - 45.4 - 56.8 46.7 - 35.3

アラカルト

- ・C.ルメール騎手はグランアレグリアで制した21年に続くヴィクトリアマイル通算4勝目。この勝利で牝馬限定JRA・GI最多勝記録(18勝)。グレード制を導入した84年以降)を更新した。JRA重賞は本年5勝目、通算164勝目
- ・黒岩陽一調教師はヴィクトリアマイル初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算9勝目
- ・ダイワメジャー産駒はJRA重賞通算55勝目
- ・4歳馬の勝利は22年ソダシに続く通算10回目
- ・出走取消 ミアネーロは疾病(右前肢跛行)のため出走取消
- ・非抽選馬 5頭(スウィーブフィート、タゴエルビーダ、ドゥアイズ、バウンシーステップ、ヒルノローザンヌ)

アスコリピチェーノ *Ascoli Piceno*

牝 黒鹿毛 2021.2.24生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・(有)サンデーレーシング 美浦・黒岩陽一厩舎
馬名意味・イタリアの都市名

リッスンIRE系 F9-b

ダイワメジャー 栗毛 2001	サンデーサイレンスUSA 青鹿毛 1986	Halo Wishing Well
	スカーレットブーケ 栗毛 1988	ノーザンテストCAN スカーレットインクUSA
アスコルティ 黒鹿毛 2011	Danehill Dancer 鹿毛 1993	Danehill Mira Adonde
	リッスンIRE 鹿毛 2005	Sadler's Wells Brigid

5代までのインブリード：Northern Dancer S4×M4×M5

INTERVIEW

東谷智司 厩舎長(ノーザンファーム空港)

まだまだ強くなる馬だと思っています

海外からの帰国後、ノーザンファーム天栄で調整されていた時期に見る機会がありました。遠征の疲れも取れてだいぶ良くなってきていると聞いていたので、ヴィクトリアマイルでも好走を期待していました。ただ、あのレース内容には驚きました。それでも勝ちきったあたりに、改めて力を付けているなと感じましたし、まだまだ強くなる馬だと思っています。

K.Ishida



海外からの帰国後、ノーザンファーム天栄で調整されていた時期に見る機会がありました。遠征の疲れも取れてだいぶ良くなってきていると聞いていたので、ヴィクトリアマイルでも好走を期待していました。ただ、あのレース内容には驚きました。それでも勝ちきったあたりに、改めて力を付けているなと感じましたし、まだまだ強くなる馬だと思っています。

2006年の創設から20回目を迎えたヴィクトリアマイルは、レース史上でも屈指のスリリングな攻防に沸いた。最後の数秒間に勝負の形勢が目まぐるしく移り変わり、上位の4頭が同タイムでゴールを駆け抜けた激戦を制したのはアスコリピチェーノ。今年の「中心」と目された4歳勢のなかでも断然の支持を集めた2歳女王が、豪快な大外強襲を決めた。

大外枠から意欲的に先手を奪ったアリスヴェリテは3コーナーにかけてリードを広げ、大逃げの態勢に持ち込む。対して2番手以下の後続は自分のリズムを守って進み、3番人気に支持された昨年の桜花賞馬ステレンボッシュは

密集した馬群の中団を追走。スタートで少し立ち遅れたアスコリピチェーノのC・ルメール騎手は、後方2番手につけ、重賞2着5回の実績を持つ1勝馬、2番人気に支持されたポンドガールも最後方で末脚勝負に構えた。

速いラップを刻みながらも、5馬身ほどのリードをつけて直線に向いたアリスヴェリテはなかなか後続を寄せ付けず、大きな見せ場をつくる。しかしゴールの寸前、力尽きたところへ差し馬たちが一斉に急襲。ターコイズSの覇者アルジーヌ、金賞賞で牡馬勢を一蹴したクインズウオーク、さらに中山牝馬Sまで3連勝中のシランケドも加わり、勝負の行方はもつれたが、大外から目を見張る脚勢で伸びてきたアスコリピチェーノがそれらをまとめて捉えたところがゴールだった。

ダイワメジャー産駒の本馬は2歳時、新馬戦から無傷の3連勝を飾って世代最初の頂点に君臨。昨春は桜花賞2着、NHKマイルCも2着と惜敗を重ね、秋の豪州遠征では思いがけない大敗(ゴールデンイーグル12着)を喫したものの、4歳初戦の1351ターフスプリント(芝1351m)でアタマ差の接戦に競り勝ち、さすがの底力を示していた。そんな中東遠征からの帰国初戦となったこの日は、陣営が「ベスト」と認めるマイルの距離で躍動。スリリングな攻防を鮮やかに制し、女王の座へ返り咲いた。

父ダイワメジャー

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央、首28戦9勝(皐月賞^{G1}、天皇賞(秋)^{G1}、マイルチャンピオンシップ^{G1} 2回、安田記念^{G1}、毎日王冠^{G2}、マイルスC^{G2})、最優秀短距離馬2回、08年から供用、15年日本2歳リーディングサイヤー〔代表産駒〕レーヌミノル(桜花賞^{G1})、アドマイヤマーズ(香港マイル^{G1}、朝日杯フューチュリティS^{G1}、NHKマイルC^{G1})、メジャーエンブレム(NHKマイルC^{G1}、阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1})、アスコリピチェーノ(本馬)、コパノリチャード(高松宮記念^{G1})、セリフォス(マイルチャンピオンシップ^{G1})、カレンブラックヒル(NHKマイルC^{G1})、レシステンシア(阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1})、ダブルメジャー Double Major(ロワイヤルオーク賞・仏^{G1} 2回)、ブルドッグボス(JBCスプリント^{JnI})、ノーヴァレンダ(全日本2歳優駿^{JnI})、ミスバンテール(阪神牝馬S^{G2})、ダイワマッジョーレ(京王杯スプリングC^{G2})、エヒセアローム(セントウルS^{G2})、他に重賞勝ち馬多数

母アスコルティ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 持込 中央9戦2勝
アストンクリントン(17 牡父ハーツクライ)中央3戦1勝
アスコルターレ(18 牡父ドウラメンテ)中央16戦3勝(マーガレットS・L、もみじS^{Op})、障害1戦0勝
(19 牡父ハーツクライ)
アスコルティアーモ(20 牝父キタサンブラック)中央11戦4勝(センテナアル・パークS)●
アスコリピチェーノ 本馬(21 牝父ダイワメジャー)中央7戦5勝(ヴィクトリアマイル^{G1}、阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1}、京成杯オータムH^{G2}、新潟2歳S^{G2}、桜花賞^{G1} 2着、NHKマイルC^{G1} 2着)、沙、豪2戦1勝(1351ターフスプリント・沙^{G2}) 獲得総賞金588,306,500円
コンサートマスター(22 牡父サトノダイヤモンド)●
ダノンアスコルティ(23 牝父キタサンブラック)
(24 牝父コントレイル)

祖母リッスンIRE

愛、英2勝(フィリーズマイル・英^{G1}、バランシーンS・愛I、モイグレアスタッドS・愛^{G1} 2着、デビュータントS・愛^{G2} 2着)、11年輸入、タッチングスピーチ(ローズS^{G2}、京都記念^{G2} 2着、エリザベス女王杯^{G1} 3着)、サトノルークス(すみれS・L、菊花賞^{G1} 2着、セントライト記念^{G2} 2着)、ミスタージューシー ●(若葉S・L)、ムーヴザワールド(共同通信杯^{G3} 3着、東京スポーツ杯2歳S^{G3} 3着)の母、キングズレイン(ホープフルS^{G1} 3着)の祖母

大激戦を制し女王の座へ返り咲く